

小野中学校 夢と希望の教育

「未来を見据えた学力」

5年先、10年先の社会に役立つ学力を目標に、「国際社会に必要なコミュニケーション能力」「社会の変化に順応する柔軟な発想力」の育成をめざしています。

「生きる力」

不易の学力である「学習意欲」や「健全な心身」、「読み・書き・計算の基礎学力」をベースにして、各教科の基礎学力を培い、更に各教科の応用力である「思考力」「判断力」「考察力」「表現力」の育成をめざしています。

学校教育中期(小学5年～中学1年)は、脳が大きく成長します。

学校教育後期(中学2年～中学3年)は、思考力、創造力が大きくアップします。

「ICT教育」

ICT教育先進国で学習効果が高いという検証結果を受け、本校も1学期末よりICT教育の推進に力を入れ、授業方法の工夫改善に努めています。

教育機器の整備

9月に、ノートPC・実物投影機・移動式マグネットスクリーン・プロジェクター・移動用ワゴンを各3セット購入し、特別教室用、本館2階教室用、本館3階教室用に配置して活用しています。

授業でチャレンジ

教員全員がICTを活用した授業づくりに挑戦しています。

STEP1 先ず、自分のICT活用能力を高めよう。

STEP2 次に、ICTを授業に取り入れてみよう。

STEP3 そして、児童生徒の学力を高めよう。



小野中学校 夢と希望の教育 2008

教育の目的（文科省）

・ 人格の完成 ・ 国家・社会の形成者

基本理念（県教委）

“美しい兵庫”をめざすところ豊かな人づくり

教育理念（市教委）

脳を鍛え、学力・体力・心を育む（脳科学と教育）

生徒像（本校）

人として あたたくく かしこく つよく 共に生き合う

教育目標（本校）

未来を切り拓く生徒の育成

未来を見据えた学力

- ・ 国際社会に必要なコミュニティ能力
- ・ 社会の変化に順応する柔軟な発想力
- ・ 「脳科学と教育」の実践力

生きる力

- ・ 言語能力 英語力 情報活用能力
- ・ 思考力 判断力 考察力 表現力
- ・ 学習意欲 基礎学力 健全な心身

信頼される学校づくり

（家庭・地域への啓発）

- ・ 小中連携プロジェクトの推進
- ・ HPによる情報の発信
- ・ 家庭学習の定着化
- ・ 学校評価の実施
- ・ 危機管理体制の徹底

生きる力を育む授業づくり

（学習指導の充実）

- ・ 「おの検定」の推進
- ・ ICT教育の推進
- ・ 言語活動の充実
- ・ 道徳教育の充実
- ・ ASK学習の徹底

生徒と向き合う学級づくり

（生活指導の徹底）

- ・ 学習環境の整備
- ・ 生徒指導の予防と対応
- ・ 参加体験型行事の推進
- ・ 生徒会活動の充実
- ・ 教育相談の充実

重点課題

- 1 基礎・基本学習の定着（「おの検定」「音読」「S計算」）
- 2 指導方法の工夫改善（「探求型」授業、ICT教育）
- 3 小中連携9カ年教育の充実（言語活動）
- 4 生徒指導の適切な対応（問題行動・いじめ・不登校）
- 5 「脳科学と教育」の理念深化（指導力向上）